

市民アンケート調査(結果抜粋 ※記述欄を除く)

○弥富市に住み続けたい理由と転出したい理由

➡共に、「日常の買い物が便利か否か」「道路状況や交通の便が良いか否か」が主な理由であった。よって、相反する回答が得られる結果となった。

○市政に対する評価〔満足度・重要度〕

①満足度が高いもの(「満足」及び「どちらかといえば満足」)

➡「消防・救急体制の強化」(47.2%)／「子育て支援の充実」(39.5%)／「上下水道の充実」(37.2%)

②満足度が低いもの(「不満」及び「どちらかといえば不満」)

➡「電車・駅関連施設の利用しやすさ」(30.9%)／「道路・交通網の充実」(30.8%)／「観光の振興」(30.7%)

③重要度が高いもの(「重要」及び「どちらかといえば重要」)

➡「防災対策の推進」(84.1%)／「防犯・交通安全対策の推進」(81.0%)／「消防・救急体制の強化」(79.2%)／「道路・交通網の充実」(79.2%)

④重要度が低いもの(「重要でない」及び「どちらかといえば重要でない」)

➡「観光の振興」(11.6%)／「文化・芸術の振興」(6.6%)／「コミュニティの強化」(6.6%)／「スポーツの振興」(6.5%)

○現在の社会情勢等による暮らしへの不安

➡社会保障、災害対策に対する不安がある他、コロナによる外出機会等の減少、物価高騰による支出増加について多くの方が不安に感じている。

○市の情報入手手段

➡広報誌が8割を超え、自治会回覧、市ホームページが約4割に対し、SNSが1割弱と、紙媒体が主な入手手段であると言える。

○デジタル化を望む分野とその期待する効果

➡各種届出や証明書発行の他、医療や健康分野についてデジタル化が重要と感じている方が多く、それにより窓口での待ち時間が減り、市役所等の窓口に出向く機会が減ることを期待している。ただし、デジタル化の進展に伴い、情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差ができることについても8割弱の人が懸念している。

○市政への参画、協働のまちづくり

➡3割を超える方が事業説明会やワークショップ等により参画を希望している。また、行政に対し広報・広聴活動の充実を求めている。なお、市民との協働事業「ヤトミーティングプロジェクト」の認知は14.7%(127名)であり、今後の情報発信が更に必要と考える。

○総合的なまちづくり

➡「住環境整備」、「防犯・防災・交通安全対策」、「子育て」への取組を望む声が多い中、「保健・医療・健康づくり」にも力を入れてほしいという意見も多くあった。